

PRESS RELEASE 一関市教育委員会

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



令和6年5月2日
午前9時

ふるさとゆかりの偉人マンガ「大槻三賢人」を製作しました

公益財団法人B&G財団（東京都港区）の助成を受け、本市ゆかりの偉人「大槻三賢人（大槻玄沢・磐溪・文彦）」を題材とした偉人マンガを製作しました。

- 1 事業の目的 地域文化の伝承に係る「偉人・先人の顕彰事業」として、次世代を担う子どもたちが、地域の歴史や文化を知り、郷土への愛着を深め（郷土教育）、将来の生き方や生活を考えるきっかけ（キャリア教育）に繋げる。
- 2 マンガ執筆 そのだつくし氏（雫石町在住、漫画家）
- 3 規格など
 - ・サイズ B6版（横12.8cm×縦18.2cm）
 - ・ページ数 112ページ
 - ・製作部数 1,000部
- 4 配布先
 - ・市内各小学校
 - ・市内各中学校
 - ・市博物館、各図書館
- 5 その他
 - (1) 小学校高学年を対象とした総合学習などの授業で活用し、また、中学校では、図書室への配架を想定している。今後は、デジタル教材としての活用も見込む。
 - (2) 市博物館、各図書館において、展示スペースの設置や企画展などを実施し、来館者へ紹介する。

問い合わせ先 一関市役所

〒029-3105 岩手県一関市花泉町涌津字一ノ町29

一関市教育委員会文化財課 課長補佐兼文化財係長 金野 修

電話：(0191)82-2242（ダイヤルイン）

FAX：(0191)36-1668

メールアドレス：bunka@city.ichinoseki.iwate.jp

— ふるさとゆかりの偉人マンガ — 『大槻三賢人』を製作しました

■ 事業の概要

公益財団法人B&G財団の助成事業を活用し、当市ゆかりの偉人「大槻三賢人（大槻玄沢・磐溪・文彦）」を題材とした偉人マンガを製作しました（令和5年度事業）。

この事業は、地域文化の伝承に係る「偉人・先人の顕彰事業」としての位置付けで、次世代を担う子どもたちが、地域の歴史や文化を知り、郷土への愛着を深め（郷土教育）、将来の生き方や生活を考えるきっかけ（キャリア教育）に繋げることを目的とします。

【大槻三賢人】

『ことばのテキスト言海』に登場し、古くから「大槻三賢人」と称し顕彰されてきたこと。また、大槻家関連資料4,048点が令和5年6月に国の重要文化財に指定され、注目度が増していることから、今回「大槻三賢人」をマンガの題材に選定したものです。

マンガでは、「玄沢編、磐溪編、文彦編」と3編から成り、事績の紹介、ふるさと一関への想いなどオリジナルストーリーとして描かれています。

マンガ執筆は、そのだつくし さん
(雫石町在住、漫画家)

規格等
 サイズ：B6版
 ページ数：112ページ
 製作部数：1,000部



■ 活用について

- ・ 事業展開について、学校授業への導入が必須（助成条件）とされており、小学校高学年を対象とした総合学習などの授業で活用（導入教材）いただくことを想定。

※デジタル教材としての活用も可能。

※中学校は、図書室等への配架を想定。

- ・ 市博物館、図書館において展示スペースや企画展などを実施し、来館者へ紹介。

配布

- ・ 小学校（各校5年生の人数分 768冊）
 - ・ 中学校（各校3冊 42冊）
 - ・ 市博物館、各図書館（各5冊 45冊）
- ※学級編成表・児童生徒数（R6年度分調整中）

※ 令和6年8月以降、B&G財団偉人マンガホームページで無料公開予定